

【プレスリリース】

報道関係者各位

2023年7月6日

一般社団法人 宗教2世支援センター 陽だまり

「宗教2世支援マニュアル」シリーズの発行を計画

—宗教2世支援の標準化を目指し、11月に「基礎編」kindle版を発行

クラウドファンディング支援者にPDF版を提供—

「(一社) 宗教2世支援センター 陽だまり (代表: 秋本弘毅、以下「陽だまり」)」は、宗教2世支援の標準化を目指す「宗教2世支援マニュアル」シリーズの発行計画を発表しました。

その第1弾として「支援者のための 宗教2世支援マニュアル 基礎編」kindle版を11月をめぐりに発行し、6月1日～7月30日まで実施しているクラウドファンディングの支援者にPDF版を提供します。

<背景>

親の宗教の影響で、さまざまな望ましくない影響を受ける「宗教2世」の問題がこの1年注目を集めています。宗教2世の抱える問題点に関して当事者からも多くの情報発信がなされ、報道もされています。

宗教2世の抱える課題が注目を集める中、どのように支援するかについては、その方法も含め十分な共通理解が得られているとは言い難い状況があります。また宗教2世に関わる方の中には、どのような支援ができるのか、悩まれる方もおられると思われまます。また、公的な場所が宗教2世をすべきという声も多くあります。

<支援の標準化の必要性>

宗教2世の抱える課題の多くは複合的な問題で、単に法的もしくは心理療法的な対応すれば事足りるという問題ではありません。困難な家族とのかかわり方から貧困対策、シェルターの紹介やストーカー対策、就学・就職に関するアドバイス、人間関係や社会でのつまづきへの助言、これからの人生の進路に関する悩み、老後の不安など多面的な問題に相対しなければならず、多くの他の案件を抱える公的な一部門で対応するには、厳しいものかもしれません。

さらに宗教2世に特化した支援でも、多くの場合当事者が主催するため、自身の経験のみをベースにする、あるいは相談経験の不足から、これら多様なニーズに応じることが困難になる可能性もあります。

そのため、宗教2世問題についてより俯瞰的、客観的に評価し、より宗教2世個々人に沿った支援を行うための標準化の必要性があります。

<標準化のための書籍の発行>

陽だまりは、その前身を含め、20年以上にわたって数百人の宗教2世を支援してきたという実績から、どのような支援をすべきかについて、その経験やそこから考えられる対応方法を蓄積してまいりました。

それら蓄積されたものから、より俯瞰的で客観的な支援策について提案することができます。そのため「宗教2世支援マニュアル」シリーズ(kindle版)として刊行し、宗教2世支援の標準化を図っていきたくと思っています。刊行予定としては以下のとおりとなります。

第1期

「支援者のための 宗教2世支援マニュアル」基礎編 (11月発行予定)

「支援者のための 宗教2世支援マニュアル」応用編①

「支援者のための 宗教2世支援マニュアル」応用編②

「支援者のための 宗教2世支援マニュアル」応用編③

第2期

「イラストで解説 宗教2世相談想定問答集①」

「イラストで解説 宗教2世相談想定問答集②」

「イラストで解説 宗教2世相談想定問答集③」



第1弾の「支援者のための 宗教2世支援マニュアル」基礎編の目次(案)は以下のとおりです。

「支援者のための 宗教2世支援マニュアル」基礎編 目次

第1章 宗教2世とは何か

- (1) 団体個別にあった2世という言葉
- (2) カルト問題との関係
- (3) 「宗教2世」という言葉の登場と拡大
- (4) 用語の妥当性

第2章 宗教2世の類型

- (1) 教団の種類 (2) 家族の位置
- (3) 信者としての活動と現在 (4) 時期と年齢

第3章 宗教2世の課題

- (1) 家族との関係 (2) 信仰と恐怖感情
- (3) 孤立 (4) 失われた機会
- (5) 精神的な問題 (6) 経済的な問題
- (7) 社会からの疎外 (8) 性の問題
- (9) 医療上の問題 (10) 自死 (11) 虐待
- (12) 忌避 (13) つきまとい
- (14) ネガティブな認識

第4章 宗教2世支援の概要

- (1) 宗教2世支援とは (2) 支援の目的・目標
- (3) 支援における姿勢

第5章 相談対応

- (1) 相談の方法 (2) 導入部 (3) 相談対応
- (4) クロージング (5) タイプ別の対応
- (6) フローチャート

第6章 グループ支援

- (1) グループ支援とは
- (2) 安心した環境下で悩みを語る「自助会」
- (3) リラックスして何でも話せる「オフ会」
- (4) グループ支援の注意点

第7章 支援の際の注意点

- (1) 先入観による弊害
- (2) 信条や複雑な思いへの配慮
- (3) 過去や将来の否定
- (4) ゴール設定の必要性 (5) 高度な中立性
- (6) 外部との連携の必要性

第8章 宗教2世の将来展望

- (1) 宗教2世問題は過渡期 (2) 高齢化
- (3) 他の社会問題への発展と提言

<今後の予定>

現在、陽だまりは、相談場所の確保と活動のバックオフィスの充実のため[クラウドファンディング](#)を行っております。その、返礼品として「宗教2世支援マニュアル」シリーズ第1弾の「支援者のための 宗教2世支援マニュアル」（PDF版）を合わせて提供する予定です。

さらに、陽だまりの会員向けの講習会にも使用し、各相談員のレベルアップを図ることによって、多くの宗教2世個々人の問題解決に貢献するでしょう。

加えて、一般販売もさせていただきます。これにより宗教2世支援についてより深く知っていただくと同時に、宗教2世に関わる関係者の理解の一助となればと思っております。

また内容も定期的に見直し、ブラッシュアップすることにより、宗教2世支援の標準化の更新とさらなるレベルアップを目指します。

■陽だまりとは

当事者団体として20年以上活動してきた「エホバの証人ピアサポート陽だまり」（任意団体）は、専門性を担保し、より多くの「宗教2世」を支援する体制を整え、行政との連携などを視野に入れた活動をするため、今年1月16日、「一般社団法人 宗教2世支援センター陽だまり」を設立しました。

【本件に関する取材および本リリースに関するお問い合わせ先】

一般社団法人 宗教2世支援センター陽だまり

E-mail : info@nisei-hidamari.org TEL 050-3046-6745 FAX 046-215-9160